

議会だより

No. 129 発行／福島県北塩原村議会 編集／議会広報調査特別委員会 ☎(0241) 23-3263 〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151
ホームページアドレス：<http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gyousei/gikai/>



平成18年
6月定例会の内容を報告
します。

6月14日～16日まで開かれ、次のよ
うな報告がありました。

2ページ～村政報告

* 二年目を迎えた杉並区民との保養地交
流について

* 第24回全国町村下水道推進大会の開催
について

* 沖縄県東村との交流について

* ニュージーランド姉妹都市への中学生
の派遣について

3ページ～平成18年度一般会計補正予算の内容と
質疑

4ページ～一般質問

* 村税等の滞納について

* 統合問題のその後について

* 生涯学習について

* 桜峠の桜管理について

6ページ～議員の資格決定の件について

7ページ～議案

* 慎重審議のうえ8議案が原案通り可決
されました。

7ページ～請願・意見書

8ページ～

* 第4回臨時会の内容

* あなたも傍聴してみませんか



6 月 定例会

6 月 14 日～16 日



招 集
挨 拶

村 長

村政報告

1. 二年目を迎えた杉並区民との保養地交流について

去る5月に「物産展・写真展」と裏磐梯観光キャンペーンを区役所で開催し、期間中、大勢の区民で賑わいました。物産展は5月30日から2日間開催し、裏磐梯の観光を大いにPRし、主に新鮮な山菜やアスパラガス、米などの農産物が区民の皆さんに好評であり、観光誘客の増大や農産物の販路拡大など、村の活性化に期待を寄せております。写真展は5月23日から9日間にわたり開催し、裏磐梯の大自然が奏でる風景を中心に紹介し、お客さんの中には裏磐梯の存在を初めて知る方も多く、ますます地域が一丸となった積極的な観光PRの必要性を強く感じています。

一方、杉並区立和泉中学校のセカンドスクール49名は、去る5月9日から5日間にわたり、早稲沢を拠点に活動しました。当村ならではの様々な自然体験や人情味あふれるもてなしに、感動のあまり、生徒も地元経営の方々も涙し

ながら名残を惜しむ光景が今年も見られました。

2. 第24回全国町村下水道推進大会の開催について

全国町村下水道推進協議会と私が支部長を務める福島県支部の主催で、7月6日・7日の2日間、裏磐梯において開催され、全国各地から多くの方々を迎えることになっております。観光PRはもとより、当村における裏磐梯湖沼群水質保全の先進的な取り組みなどを全国に向けて発信できる絶好のチャンスでもあります。皆さんと力を合わせ、深く心に残る価値ある大会となるよう万全を期してまいります。

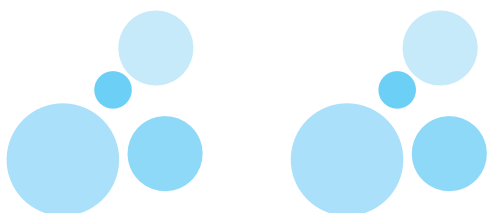
3. 沖縄県東村との交流について

7月22日から25日までの4日間の日程で、当村の小学6年生が沖縄東村への訪問を予定しており、さまざまな活動や交流を通して異文化を体験します。一方、東村からは10月12日から15日までの4日間の日程で中学生の訪問が予定されており、村民の歓迎をお願いします。

4. ニュージーランド姉妹都市への中学生の派遣について

8月17日から7日間、南半球でいろんな体験、ふれあいを通して、新しい発見があることを願っております。なお、今年からホームステイを中心とした3泊の活動が行われることになっており、歴史・生活・文化など様々な経験ができると思っております。

また、これまで3月に交流の派遣を行っていましたが、定期的に年度末に当たること、また、引率される先生方の負担に配慮し、今年度から夏休みの期間中に実施するものです。



議案第44号
平成18年度一般会計補正予算(第1号)
31,836千円を追加して
総額 31億508万8千円

主 な 内 容

児 童 手 当	6,225千円
児童保育の臨時職員賃金	1,401千円
裏磐梯観光協会補助金	2,148千円
除雪機械保管車庫改修費	1,580千円
松陽台墓地公園調査委託料	2,000千円
公営住宅(北山団地)用地費	1,440千円

議案第45号

平成18年度北塩原村老人保健特別会計補正予算(第1号)
6,496千円追加して総額500,631千円とする。

議案第46号

平成18年度北塩原村特定環境保全下水道事業
特別会計補正予算(第1号)
82,708千円追加して総額720,274千円とする。

議案第47号

平成18年度北塩原村農業集落排水事業特別会計補正予算
(第1号) 総額90,104千円のうちで歳出を補正する。

などが、

可決されました。

質 議

Q 観光費の、裏磐梯観光協会補助金二百十四万八千円が補正で出ているが、内容を伺う。

A 役務費の通信・運搬費の十四万八千円と広告料二百万円を観光協会の補助金に組み替えた。
内容はパンフレット等の送付料十四万八千円とホームペー
ージを充実させるための五十
万円、インターネット掲載料
百五十万円です。

Q 土木費、住宅建設費の百四十四万円の公有財産購入費の土地購入費を伺う。

A 北山住宅団地で用地買収した所の住宅団地の進入路を、検討した結果、縦断勾配がきついたために、南側に若干移動するための追加買収です。

Q 観光施設費の登山道整備の刈り払いの人夫賃

の百七十万七千円の内容を伺う。

A 80キロの遊歩道を管理する経費です。

Q 土木費の除雪対策費の工事請負費百五十八万円の倉庫の改修工事費の内容を伺う。

A 裏磐梯地区の除雪機械は野ざらし状態で風雨にさらされ、さびたり劣化するのを防ぐ格納庫にするため。

Q 企画費の調査委託料として二百万円計上しているが、松陽台の共同墓地の調査費について伺う。

A 予定では、村道北山・薬師線の南側を予定しています。



一般質問 1

3番 小 椋 元



1 村税等の滞納について

①村税、国保税、上水道・下水道、分担金等について過去5年間の滞納状況を伺う。
②その対策と今年度の滞納解消に向けた目標等を伺う。

財務政策課長

①滞納状況については、大型ホテル倒産等の特別事情の影響を除くと、各年度賦課分の滞納状況は、過去5年間ほぼ横ばいの状況です。

②税徴収は、2名の特別徴収対策専門官が毎日直接訪問による徴収を行い、また財務政策課全体で対応し、時期によっては全庁体制による臨戸徴収も実施し、並行して、税法

に基づく不動産、動産、債権などの差し押さえ等の滞納処分を行って来た。

今年度も同様の方策をとるが、特に今年度は、差し押さえ物件の公売を実施し、さらに滞納解消強化を図ります。

再質問

①過去5年間の滞納の数字を伺う。

財務政策課長

①村税13年度、六億四千七百万、14年度、八億百万、15年度八億九千万、16年度二億二千万、17年度が二億二千六百万円です。

国保税は、13年度二千万、14年度二千万、15年度二千万、16年度二千二百万、17年度二千三百万。

上下水道料合わせて13年度三千万、14年度三千六百万、15年度三千八百万、16年度三千九百万、17年度が三千三百万。

下水道分担金が、13年度三百万、14年度八百万、15年度六百万、16年度七百万、17年度七百万。百万単位で答えました。

再々質問

滞納分が簡単に解消できるものではなく、救済策はないのか。例えば不納欠損等を行ったらしいのでは、また下水道分担金を無くす方法はないのか伺う。

財務政策課長

確かに滞納分は、簡単に解消できないので、税法に基づき差し押さえ等を実施している。

特に今年度は公売も実施して徴収します。

不納欠損は、税の公平の原則、税法上の問題から簡単にできないので、税法に沿った形で滞納解消を進めていく。国保税については、平成17年度に税率を上げたのは、医療費のその年の見込みを出して、それで所得等が確定した段階で本算定と税率等を決めている。

今年度の税率は、7月に本算定に入るが、その中で医療費の見込み、被保険者の所得等をつかみ、先を見越して税率を決めていきます。

下水道分担金については、

加入の際にただくように決めているもので、簡単に減額、免除はできない。

2 統合問題のその後について

①関係地区への説明会の経過と今後の方策を伺う。
②緊急アンケートの結果は、どうだったのか伺う。

教 育 長

北山・大塩幼稚園、北山・大塩小学校の統合は、3月定例村議会に条例改正を提案し、原案どおり可決決定しました。それを受けて、大塩・北山地区の住民のかたがたを対象に、4月4日から11日にかけて、幼稚園・小学校統合に関する説明会を開催し、説明会では、統合決定までの経過並びに大塩地区の振興を含めた今後の方針について説明をしました。教育委員会としては、平成19年4月1日統合に向け、全体スケジュールに沿って進めます。

企画政策課長

②「アンケートのお願い」に趣旨を記載したとおりで、実施したもので、今後の対応に

ついて、村長の政治判断材料の参考に資するため行ったもので、結果についての公表は考えていません。

再質問

①統合の全体スケジュールとは何か、進め方がおかしいのでは、その点を伺う。
②緊急アンケートの結果の関係を伺う。

教 育 長

①推進委員会、村長に答申されて議案が上程され、議決を得たことから、それに従って私は平成19年4月1日の統合に向けたスケジュールを今考えています。

具体的に言いますと、校名が決まらなないと、すべての事柄が進みません。校名、校歌、あるいは校章、保護者、PTA、学校との行事の調整を考えて、全体スケジュールを今取り組んでいる所です。

企画政策課長

教育は、将来を見据えた形で進めています。子供を持つ保護者の皆さんが今どのような

に考えているのか。

どのような、意識を持つて
いるのか伺ったもので、さら
に今後の地域振興も考えなが
ら一緒に行動することを考え
ています。

再々質問

①教育長は統合に自信を
持つて進めていることは、
良いことだが、今までの
進め方の間違いと認める
ことも必要と思うが如何
か伺う。
②緊急アンケートを何故
やったのか目的がわから
ない、結果を公表しない
のは何故か伺う。

教 育 長

先程も答弁しているとおり、
最高決定機関の議会で決定さ
れたことを尊重したいと思っ
ています。

企画政策課長

目的については、将来を見
据えた教育環境を整えるため、
子供の教育に、直接関係のあ
る人からアンケートを取って、
施策の参考にしたいと、アン
ケートのお願いに書いてあり

ます。

公表することの是非は、公
表することで、各保護者間の
教育に対してと人間関係にも
配慮し、公表は差し控えたい
という考えです。

3 生涯学習について

①村広報の生涯学習のペ
ージが、いつから、どん
な経過でなくなったのか
伺う。
②4月26日の成人セミナ
ーは、行われたのか。講
師は誰か。それとも中止
だったならその理由を伺う。

企画政策課長

平成16年2月まで生涯学習
のページを設けていたが、同
年の3月に紙面構成等の見直
しを行い、その結果生涯学習
としてのページを設けないで、
一般の記事と同様の扱いで掲
載しております。

特別に生涯学習のページを
設けなくとも、記事を掲載し、
これまで何の支障も生じてい
ない状況です。

教育課長

今年度、第1回目の成人セ
ミナーについては、4月26日

に開講式と講演会を開催し、

講師は会津若松市の石田昭夫
先生で、『戦国時代の城につ
いて』という題で、大塩の柏
木城を中心にお城の話を講演
しました。

当日参加した33名が、東北
最大級の山城であると言われ
る柏木城について、大変関心
が高く、大変好評でした。成
人セミナーは、年6回開催す
る予定です。

再質問

①生涯学習計画書記載の
広報紙を活用した生涯学
習が、それで充実される
のか伺う。
②4月26日開講式、北山
公民館で14時から16時、
講師と講演を決めて、1
カ月以上も前から準備し
て、数日前に変るのか理
由を伺う。

企画政策課長

生涯学習のページを設けて
いたときと、現在の広報は同
じ扱いで村民の関心の高い記
事とか、相乗効果のあるもの
とかを、行政全体の中で掲載
しています。

教育課長

当初は郷土史研究会の一部
の意見もあったので、『漆石
と石切山』の題で講演をお願
いする予定でしたが、詰めて
いる中で、もっと別のもの、
関心のあるものという意見も
あり、総合的に判断をした結
果、予定を変更して、石田昭
夫先生に『戦国時代の城につ
いて』と題して、大塩の柏木
城を中心に講演をしていただ
き大変好評でした。

再々質問

4、5日前に別な講座
にすることは、先に依頼
した講師に対しては許さ
れないと思うが如何か伺
う。

教育課長

総合的に判断をした結果、
変更したほうが良いという事
で、柏木城を中心とした歴史
講演会に変更しました。変更
した事で受講生には、むしろ
好評を得たということです。

4 桜峠の桜管理について

①10年間の管理費は、最
初の1万円に含むのか伺
う。
②1本1万円は、どんな
計算だったのか伺う。
③この冬は、ネズミの被害
は何本あったのか伺う。

産業政策課長

①含みません。
②オーナーとなる権利を取得
するものです。
③今年のネズミの被害は25本
です。

再質問

桜に被害があるのは、
最初から予想がでなか
ったのか。また、管理の
責任はだれにあるか伺う。

産業政策課長

相手が自然なので、当初か
らネズミの被害が何本とかを
予想がでなかつた。

また、管理は剪定等で病氣
や害虫の発生を防いだりして
枝の若返りを図り、積肥等で
樹勢の維持や枝の発生を促し

ているので、今後も維持管理には万全を尽くしていきます。

再々質問

①桜の管理は計画をもつて行うべきだと思うが如何か伺う。

産業政策課長

桜を守っていくには、時間がかかり、三春の滝桜に関しては千年、また、弘前の弘前公園の桜は三百年経過しているわけで、何事も1年2年の目先の事でなく事業に対しては、百年の計を立て行う事が大事だと思います。

関連質問

11番 小 椋 眞

大塩と北山の統合問題の緊急アンケートの結果、どうだったのかを、先程から聞いていますと、答弁の中ではその結果がどうしても言えないというような答弁が出ておりますが、村のアンケートと

いうものは、村の役場だけが知っている訳にはいかないわけで、村の最高機関の議会にアンケートの結果を出せないなんていうような話はないと思う。この辺の見解をきちんと説明していただきたい。

村 長

村長としてアンケートを取って今後の進め方についての参考にするということを書いて配付したので公表して、子供いる家に迷惑かけたりできないので、私の個人の名前で行った。

議員の資格決定の件

※ 小椋義正議員の資格決定の件について

委員会報告は「資格を有する」と決定した。

議決は全員一致で

議員の資格を有すると決定 されました。

※ 五十嵐力雄議員の資格決定の件について

委員会報告は「資格を有しない」と決定した。

地方自治法第127条の第1項の規定により、出席議員の3分の2以上の（7名）の賛成者を必要となるので。

議決は

「資格を有しない」とする議員は、5名だったので

議員の資格を有すると決定 されました。

議案番号	件 名	内 容
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて	福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の増減及び組合規約の変更
議案第41号	除雪ドーザ購入契約について	品 名 新キャタピラー三菱910G II 契約者 喜多方ブル自工(株) 代表取締役 上野利八
議案第42号	喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更について	構成市町村の障害者自立支援法第15条の審査会設置、第26条の審査判定業務に関する事務を追加するもの
議案第43号	喜多方地方広域市町村圏組合ふるさと市町村圏基金の一部取り崩しに係る権利の放棄について	構成市町村の出資金により造成した基金の一部を取り崩すもの
議案第44号	平成18年度北塩原村一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額にそれぞれ31,836千円を追加し、3,105,088千円とするもの
議案第45号	平成18年度北塩原村老人保健特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,496千円を追加し、500,631千円とするもの
議案第46号	平成18年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計予算（第1号）	歳入歳出予算の総額にそれぞれ82,708千円を追加し、1,527,070千円とするもの
議案第47号	平成18年度北塩原村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額90,104千円のうちで歳出のみを補正するもの

請 願 陳 情

▼採択となったもの

○出資法の上限金利の引下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」並びに「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書提出の陳情について

〈陳情者〉

喜多方市字御清水東

七二四四―二

日本労働組合総連合会

福島県連合会

耶麻喜多方地区連合会

議長 小林 千代松

喜多方市字惣座宮二七九八

耶麻喜多方地区

労働福祉協議会

会長 小林 千代松

○障害者自立支援法の施行にともなう諸問題を解決するための意見書提出を求める陳情

〈陳情者〉

福島市渡利字天神三七五

福島県社会保障推進協議会

事務局長 鈴木 隆夫

○安全でゆき届いた医療・看護をするために、医師・看護師等の人手不足の緊急改善を求める陳情

〈陳情者〉

福島市五月町二五

福島県医療労働組合連合会

執行委員長 斎藤 富春

▼審議未了となったもの

○『医療制度改革法案』の廃案を求める意見書の提出についての陳情

〈陳情者〉

福島市渡利字天神三七五

福島県社会保障推進協議会

事務局長 鈴木 隆夫

意見書

○出資法の上限金利の引下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関

する法律」並びに「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

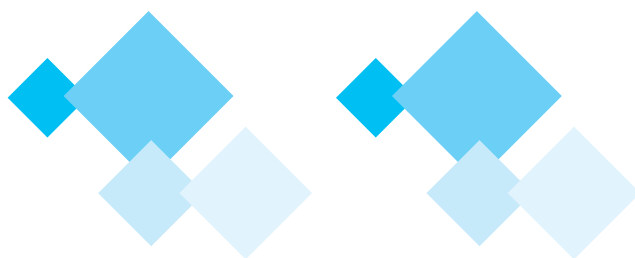
内閣総理大臣 小泉純一郎 外5名

○障害者自立支援法の施行にともなう諸問題を解決するための意見書

内閣総理大臣 小泉純一郎 外4名

○安全でゆき届いた医療・看護をするために、医師・看護師等の人手不足の緊急改善を求める意見書

内閣総理大臣 小泉純一郎 外4名



7月10日開催の第4回臨時会の内容

議案第48号 平成18年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）

内容：歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16,048千円追加し、
歳入歳出予算の総額を345,960千円とする。

* * * * *

住民直接請求（地方自治法第74条第1項）

議案第49号 北塩原村立小学校、中学校及び幼稚園条例の一部を改正する条例（北山・大塩小学校及び幼稚園を北山に統合する条例）を廃止する条例

内容：3月定例会で北山・大塩小学校及び幼稚園が統合することを可決されたが、それを白紙撤回する条例

賛成者（統合に反対議員）

3名

反対者（統合に賛成議員）

7名

で、**否決されました。**

「あなたも議会を
傍聴してみませんか」

ご希望の方は、議会事務局へ

ご連絡ください。

直通 ☎（23—3263）



編集委員

委員長

酒井 作 男

* * *

副委員長

五十嵐 肇

* * *

委員

遠 藤 栄 久

五十嵐 力 雄

鈴木 定 芳